

将来都市像の候補

(新たな候補)

A案

『みんなで創る 未来へ続く 進化する住宅都市』

(理由) 「みんなで創る」は、市民、事業者、行政それぞれが協創してまちづくりに取り組み、「未来へ続く」は、人口減少に転じる中であっても、持続可能な社会を支える行政経営を進め、わたしたちのまちが未来まであり続け、「進化する住宅都市」は、就業や消費を大阪に依存していたこれまでのベッドタウンから、市内で働き、市内で生活し、市内で人生を楽しめる、新しいカタチに進化する住宅都市にしていきたい、という思い。

B案

『自分らしく輝けるステージ・生駒』

(理由) 大阪への通勤・通学者が多く住むベッドタウンという基本的な方向性は受け継ぎながらも、日中の多くの時間を市内で過ごす暮らしや、市内で住み、働く暮らしなど、多様な生き方やライフスタイルを叶える機会や場、人と人のつながりが豊かにあるまち(ステージ)で、主人公である市民が、夢を叶え、輝く人生を送るまちにしていきたい、という思い。

C案

『自分らしい暮らし方に出会えるまち』

(理由) 大阪への通勤・通学者が多く住むベッドタウンという基本的な方向性は受け継ぎながらも、日中の多くの時間を市内で過ごす暮らしや、市内で住み、働く暮らしなど、市民が思い描く生き方やライフスタイルを生駒で見つけ、その希望の暮らし方を実現することができるまちにしていきたい、という思い。

D案

『やりたいコトを応援してくれるまち』

(理由) 大阪のベッドタウンというまちではなく、これからは市内で働いたり、起業したり、生活や暮らしを楽しんだり、市民が叶えたい夢や挑戦したいことを、周りの市民だけでなくまち全体で応援し合い、サポートする気運や文化が醸成されたまちにしていきたい、という思い。

(これまでの案)

①案

『市民が創る めくもりと活力あふれるまち・生駒 ～イマを超える イコマを超える～』

(理由) 「イマを超える」は、人口減少に転じる中であっても、現状維持に満足せず、今より住みやすいまちを創っていききたい、「イコマを超える」は、生駒山を越えて大阪から移住してもらえる魅力あるまちをつくる、垣根を越えて多様な主体が連携してまちづくりに取り組みたい、という思い。

②案

『市民が創る めくもりと活力あふれるまち・生駒 ～未来に駒を進める 創生のまち～』

(理由) 「未来に駒を進める」は、就業や消費を大阪に依存していたこれまでのベッドタウンから、市内で働き、市内で生活し、市内で生活を楽しめるまちへ、次の新しいステージに進みたいという思い、「創生のまち」は、人口減少にあっても、個性豊かで多様な人材と魅力ある多様な就業機会が創出され、市民のひとり一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会を形成していきたい、という思い。

③案

『彩りあふれる未来へ続く 市民が創る住宅都市』

(理由) 「彩りあふれる未来へ続く」は、多様化するライフスタイルに伴い生駒市に住む一人ひとりが望む様々な暮らし方が実現した未来へ続いていけるよう、「市民が創る」は、市民が主役となって、住みよい住宅都市の実現に向けてまちづくりに取り組んでいきたい、という思い。

④案

『100年先も つづき つながり つむぐまち』

(理由) 「100年先もつづき」は、人口減少に転じる中であっても、持続可能な都市経営を進め、わたしたちのまちが100年先もあり続け、「つながり つむぐまち」は、市民と市民、市民と行政、企業と行政など多様な主体が連携し、互いに共有できる価値を紡ぎだし、創造することで、新しいカタチの住宅都市を創っていききたい、という思い。